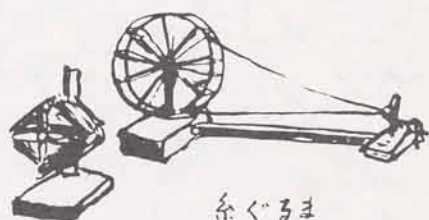


(2) 工場の仕事～製糸工場のれい



糸ぐるま
100年以上も前の道具^{どうぐ}

① さくちよ



まゆの糸口をさがすきかいです。
80度くらいの湯の中を、ほうきのよ
うなものをくるくるまわして糸口を
さがします。

② きゅうけんき



さくちよによって糸口の出された
まゆは糸とりきかいの下をまわります。
す。

③ 糸とりきかい



きゅうけんきに入ったまゆからひ
とりでに糸をとり、上の糸まきにま
まきにつけていきます。

- 昔は、まゆの糸口をみつけたり、それを糸とりきかいにかけたりするのは、ぜんぶ人手でやりました。これはたいへんな仕事でした。まゆは80度もあるあつい湯の中に入っているのです。かんたんな道具^{どうぐ}はつかいましたが、あつい湯のために、女工さんたちは指をいためることもたびたびでした。
- 今は、糸とりきかいがひとりでにまゆから糸をまきあげますが、昔はいちいち人手でやりました。そのために糸まき（写真③のなか）は、ひとりで20こ分ぐらいしかうけてもせんでした。しかし、今はきかいのおかげで、ひとり100こ分もうけてるようになりました。
- ①～③までの写真は、町内の多勢製糸工場の中の様子です。この工場は今からやく60年も前（昭和7年）に仕事を始めました。しかし、かいを育てる農家が年々少なくなり、平成7年に仕事をやめています。